

JENESYS2015（招へいプログラム）

（対象国：ラオス、(文化)日本語コミュニケーション・日本文化体験）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ラオスより日本語・日本文化に関心を有する大学生 21 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、3 月 1 日から 3 月 8 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

ラオス 21 名

3. 訪問地

東京都、岡山県

4. 日程

3 月 1 日（火） 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

3 月 2 日（水） 【日本理解講義、基調講演】
【歴史伝統文化視察】明治神宮、【ポップカルチャー視察】原宿

3 月 3 日（木） 東京都から岡山県へ移動
【歴史的建造物視察】倉敷美観地区

3 月 4 日（金） 【学校交流・日本語コミュニケーション】岡山県立津山商業高等学校
【文化体験】茶道体験、【自然体験】記念植樹
【地方自治体表敬訪問】津山市議会議長
【ホームステイ対面式】、【ホームステイ】

3 月 5 日（土） 【ホームステイ】

3 月 6 日（日） 【ホームステイ歓送会・日本語コミュニケーション】
【ワークショップ】報告会準備

3 月 7 日（月） 岡山県から東京都へ移動
【成果報告会】

3 月 8 日（火） 成田国際空港より出国

5. JENESYS2015 プログラム記録写真



3/3【歴史的建造物視察】倉敷美観地区



3/4【学校交流・日本語コミュニケーション】岡山県立津山商業高等学校



3/4【文化体験】茶道体験（津山市）



3/4【地方自治体表敬訪問】津山市議会議長（津山市）



3/6 ホームステイ歓送会・日本語コミュニケーション（津山市）



3/7 成果報告会（東京都）

6. 参加者の感想

◆ ラオス 学生

私は、学校訪問がとても印象に残りました。日本の学校は、本当に広くて、様々な施設・設備が充実しています。日本の生徒は、ラオスの生徒と同じように先生方に敬意を払っています。校内は、とても清潔でした。同年代の生徒との交流や会話を通して、多くの新しい知識を得ましたが、最初は、日本人の生徒が、「私たちと話してくれるだろうか、話をしてくれても理解できるだろうか」と、とても不安でした。しかし、実際に会ってみると、まるで、以前からの知り合いであったかのように、会話をすることができたのです。日本語でのコミュニケーションが困難な時は、英語を使ってお互いに会話をしました。まるでクラスメートのように感じました。

◆ ラオス 学生

日本は、とても美しく、清潔で、規律があり、公害も少なく、整った都市計画、森林などの豊かな自然を持ち、人々は、上品で親しみやすく思いやりがあり、本当に訪問したい国の一つです。今回の訪問で、私は人々の生活や規律正しさ、道路事情などについて多くの事を学びました。道路には、横断歩道や信号が整備され、みんな厳格にルールを守っています。しかし、信号のないところでは、歩行者がいると、大型車は、止まります。日本人が、他の人を尊重していることが解りました。

生活に関しては、堅実で、規律正しいと感じました。ホームステイでは、お父さんお母さんは、優しく、笑顔で子ども達のために、食事などを用意してくれました。まるで家族のように温かく、心から私たちを迎え入れてくれたのです。

また、私が、最も感動したことは、まだ見たことがなかった最先端のトイレや設備です。私は、目を丸くしてしまいました。今回来日できたことを、不思議なような、そして、嬉しく、誇らしく思います。私は、今回の体験や知識を伝え、ラオスを発展させます。そして、これからも、日本とラオスの関係が、強固でより良よいものになるよう、努めていきたいと思っています。

◆ ラオス 学生

今回の日本訪問で、文化や日本人の生活に触れる機会ができ、とても嬉しかったです。多くの事柄が印象に残っています。特に、短期間でしたが、津山市で日本のお父さんお母さんの家庭に、ホームステイした体験です。まるで自分の家にいるように、会話をし、家族についてや生活など多くの事を教えて頂きました。私の不安感は一掃され、どんどん楽しさが増していきました。私は、日本語があまり上手ではないのですが、家族のみんなとの会話に問題はありませんでした。「間違っても恥ずかしくなくていいよ」と励ましてくださったからです。私は、ラオスの文化について教えてあげたり、ラオス料理を作ったりして、みんなに味を見てもらうことができました。

また、伝統的な茶道を体験し、自分でお茶をたてました。そして、ラオスの文化にはない温泉体験がとても印象に残っています。温泉では、本当にドキドキしました。

7. 参加者の報告会での報告内容(帰国後の発信計画)/プログラム中の発信内容

ເນື້ອໃນກິດຈະກຳ: - ມາລະຍາດແລະລະບຽບຂອງຄົນຍີ່ປຸ່ນ - ການຕໍ່ແຖວ - ການຮັກສາເວລາ - ການໃຫ້ກຽດຄົນອື່ນ - ການສັນຈອນ - ການແຍກຂີ້ເຫຍື້ອ  	ຕ່າງໆໜ້າພາກວິຊາພາສາຍີ່ປຸ່ນ ກໍ່ຄືນັກສຶກສາລາວທຸກຄົນ Present ບົດຄົ້ນຄົ້ນໄດ້ໃນປະເທດຍີ່ປຸ່ນແລະແຜນການທີ່ຈະໄປສ້າງກິດຈະກຳໃນລາວ ຂອບໃຈນັກສຶກສາລາວທຸກຄົນທີ່ຮ່ວມໃຈກັນເຮັດໃຫ້ສ້າງເລີດໄດ້ #Jenesys2015 日本語のコミュニケーション 
アクションプラン	Facebook 発信
楽しみですね。 #北海道 #MEJISHINGU #HARAJUKU #JENESYS2015  Facebook 発信	